

～ 青少年体験活動 ～

ボランティア養成研修

人と関わる活動がしたい

誰かが...

あなたとの出会いを待っています

子どもたちの笑顔に
たくさん出会いたい

仲間と一緒に活動することで
自分も成長したい

開催場所

国立山口徳地青少年自然の家

開催日

平成21年5月16日(土)～17日(日)

対象

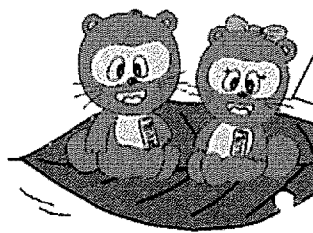
国立青少年自然・交流の家でのボランティア活動に興味・関心のある方
(高校生以上) 募集人員: 30～50名程度

参加費

2,260円(食事代1,990円, シーツ代55円, 保険代120円, 教材費95円)

後援

広島県・山口県・島根県・福岡県の各県教育委員会, 山口市教育委員会



たくさんの
“ありがとう”
が、あなたを
待っています!!

子どもが好きな方, 自然が好きな方, 野外活動の知識や技術を身につけたい方,
新しい自分を発見したい方, 人との関わりが好きな方...。
普段の生活からちょっと離れ, 新しい自分にチャレンジしてみませんか...?!
あなたの“仲間”が、あなたを待っています!!

日 程

≡ 5月16日(土) ≡

- 10:00~10:20 受付
10:20~10:30 開講式
10:30~12:00 講義
「青少年教育の理解」
13:00~14:30 演習
「青少年教育における
ボランティア活動の理解」
14:40~19:00 演習
「自然体験活動の実際と
指導方法(野外炊飯とテント準備)」
19:30~21:00 講義
「青少年教育施設の現状と運営」
※ テント泊での寝袋は、所で準備いたします。

テントでの宿泊体験を
経験してもらいます!!

≡ 5月17日(日) ≡

- 9:00~12:00 実習「救命救急法」
13:40~14:40 講義
「私のボランティア活動」
14:50~16:20 講義
「ボランティア活動の意義」
16:20~16:30 閉講式(解散)

～法人ボランティアとは…?～

国立山口徳地青少年自然の家で実施する事業に
スタッフとして参加し、子どもたちや事業運営の
サポーターとして活動します。また、他の国立青
少年教育施設でも活躍することができます。

申込方法

次の事項をご記入の上、電話・FAXまたは郵送でお申し込みください。

- ①名前(ふりがな) ②年齢(生年月日) ③性別 ④郵便番号と住所 ⑤電話番号(携帯番号) ⑥学校名又は勤務先
⑦マイクロバス送迎の有無 ⑧保護者名(高校生の方)

※年齢(生年月日)は、保険及び、救命救急法講習修了証の手続きで必要になります。

※ファックスでお申し込みの場合は、電話で着信をご確認ください。

※本研修でいただいた個人情報、本所企画事業等のご案内以外には使用いたしません。

また、本研修の様子を撮影した写真等は、広報等に利用することがあります。ご了承下さい。

持参物

※テント泊を予定しています。特に、防寒対策・虫除け対策等の準備をお願いします。

- 筆記用具 保険証(コピー不可) 長袖シャツ 長ズボン 軍手 雨具(カッパ)
洗面用具(石けんのみ用意しています) 帽子 動きやすい靴(運動靴で結構です)
長ソックス(防虫になります) 虫除けスプレー 常備薬(所では、原則薬の処方はできません)

締切日

平成21年5月1日(金)

申込先

国立山口徳地青少年自然の家 (担当:杉本)
〒747-0342 山口県山口市徳地船路668
TEL (0835)-56-0112 FAX (0835)-56-0130
E-mail: tokuji@niye.ne.jp ※ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

送迎バス案内

(無料) ※送迎を希望される方は、申し込み時にお伝え下さい。

【迎え】16日(土) JR防府駅南口 9時30分発
【送り】17日(日) 国立山口徳地青少年自然の家 16時30分発
JR防府駅南口 17時15分着

修了証・履修証明書の交付

本研修と他期日に実施する企画事業等においてボランティア実習を修了された方には、「修了証」及び、「履修証明書」を交付します。

登録証の交付

本所や他の国立青少年教育施設の事業にボランティアとして活動参加を希望される場合には、国立青少年教育振興機構の法人ボランティアとして登録する必要があります。登録証は、その証であり、後日交付されます。

申し込み状況により、発着場所・コースの変更があり

普通救命講習修了書の交付

本研修を修了されると、防府市消防本部から普通救命講習修了証が授与されます。

『ボランティアの立場から大切にしたいこと』 【 1 】 班

安全指導のポイント

◇道具類の準備時

- 刃物を置きっぱなしにしない
- 刃を人に向けない。
- 洗い物はためないようにし、こまめに片づける。
- 道具類（皿など）は、使用前に枚数などを確認する。

◇薪割り時

- 薪を束ねる車輪かきを片づける。
- 薪を運ぶときに持ちすぎない。
- 一人で薪を割るときは、木の下の方を持つようにする。
- 二人で割るときは、割れた薪が当たらないよう安全な場所を改め確認する。

◇かまどへの火付け時

- 火元に燃えるものを置かない
- 軍手をつける。
- 薪をくべるときは、火ばしを使う。
- 火をつける新聞紙はちねらずそのまましておく。

◇調理時

- 水を出しっぱなしにしない
 - 火のそばで あばれない。
 - やりっぱなしにせず 後片づけをする。
 - 手をきれいにする
 - 包丁を扱うときは注意する。
 - あせらない。
- 熱い
◦ 鍋を持つときは軍手は2枚以上重ねる。
- 熱い
◦ 熱いフタは火ばしで取る
- 鍋の底のこげは熱いうちにとる。
- 使用前に底に洗剤を塗っておく。

◇その他

サンダルや半ズボンなど 服装に気をつける。 ゴミは分別して捨てる。

子どもを“ほめて”指導できる場面と、具体的な声かけの内容

- かまどに火を付けることができたなら喜びを分かち合う。
- 子ども同士が協力し合うことができたなら「えらいねーよくできたね」とこまめに声をかける。
- 割れやすい薪はどちらでしょう？などのクイズなどに正解できたら「よく分かったね」とほめる。
- 料理ができたなら、「おいしくできたね」と声をかける。
- 食材を切るとき、包丁でうまくできたら ほめる。
- 片づけが終わったら「最後まで頑張ったね、すごいね」「ありがとう」と声をかける。

全体を通しての気づき

- カレーライスがスムーズにできた。
(役割を分担していたから)
- 火の周りでかまどを見たり鍋を触るときは、必ず軍手をつける

『ボランティアの立場から大切にしたいこと』

安全指導のポイント

◇道具類の準備時

- ・ 半袖・半ズボン・サンダルはダメ
- ・ ゴミの分別

- ・ ものを人が通るところにおかない。
- ・ 正しい数のカマド大事!

◇薪割り時

- ・ 刃物を置く時は、人にあたらないように
- ・ 薪をくくっていた輪っかは、地面になげうはなしにしない。
- ・ 薪は軍手で持つ。

- ・ **+** 薪は最初手で持つ。
- ・ 薪わりは使わなくなったたらすぐ片付ける!

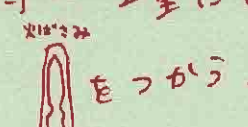
◇かまどへの火付け時

- ・ 軍手をつける
- ・ ゴミは燃やさない
- ・ 火加減に注意

- ・ かたづけの時、あたたがいうちに新聞紙ですみをおぼす!(もちろ軍手)
- ・ かたづける時、水をかけおぼす

◇調理時

- ・ 火の近くでしゃべらない・みはる
- ・ 水はこまめに止める
- ・ 生ゴミがおちていたら片づける(すぶりそう)

- ・ 火を扱う時は軍手をつかう
 - ・ よくに鍋にふれる時は2重にしたリ
- 

子どもを“ほめて”指導できる場面と、具体的な声かけの内容

- ・ あなたの使い方を覚えてくれたとき
- ・ 子供同士で注意しあっていたとき ← “他の子にも注意しあってくね”, “こいつ知っていたね”
- ・ 何か出来ていたらほめてあげる ← 子供の心に印象づく、自信がつく
- ・ 子供同士のいざこざで、~~おぼす~~ やすくあげた子、自ら謝った子。

全体を通しての気づき

- ・ 危険なことを事前に確認して分かっているけど、実際できないことがあった。
- ・ 子供の見本であるということを忘れがらなうた。
- ・ 何もしない時間があったので、子供たちに～すれば? と提案してみる。
- ・ みんなで作ったカレーはおいしい。

『ボランティアの立場から大切にしたいこと』 【 3 】 班

・ 最初 ○ 後

安全指導のポイント

◇道具類の準備時

- ・ 火の出しっぱなしにしない

◇薪割り時

- ・ 軍手をひきながら持たない
- ・ 薪をまとめるための処理
- ・ なたの放置
- ・ 素手で薪を持たない

◇かまどへの火付け時

- ・ 火の調節
- ・ 軍手をきる
- ・ 火の側に燃えるものを置かない
- ・ 火を火に入れない
- ・ 薪は奥まで入れる
- ・ 同時に操作しない
- 腕に、時計・アクセサリーはしない

この時も



◇調理時

- ・ 火の周りで遊ばない
- ・ 水の出しっぱなし
- ・ 野菜くずの処理
- ・ 周りを見ながら鍋を運ぶ
- ・ 横の操作しない
- 火を用いる時は、軍手を用いる

◇その他

- ・ 短パン
- ・ サングラス
- ・ 帽子の向き
- ・ 傘など

子どもを“ほめて”指導できる場面と、具体的な声かけの内容

- 野菜上手に切れたね!
- 薪上手に割れたね!
- みんなで食べる = 美味いわ!
- 苦手なものを食べた時 → よく食べれたね!
- 早く片付けを終えた時 → 手際よくできたね!

全体を通しての気づき

- 役割分担できたのが良かった。
- 教え合えた。
- 調理と片付けを同時に行ったのが良かった。
- ご飯の量が良かった。
- 野菜を小さく切ったのが良かった。

『ボランティアの立場から大切にしたいこと』 【 4 】 班

安全指導のポイント

◇道具類の準備時

半袖半ズボンの子がいる
食器を一人でたくさん運ぼうとしている

◇薪割り時

子どもだけで薪を割っている
なたが放置されている
落ちているひもにひっかかりそう

◇かまどへの火付け時

火のまわりで子どもがあそんでいる
火ばさみを扱うのに素手で使っている

- ・火の風向き
- ・かまどの近くに可燃物や易燃物を置かない
- ・軍手の着用（やけどに注意する）
- ・新聞などで仰いだ時、灰が飛ぶので注意する

◇調理時

包丁などが放置されている
残飯が落ちている
重い鍋を運んでいる

子どもを“ほめて”指導できる場面と、具体的な声かけの内容

- ・遊んでいる子がいたら、役割を与える
- ・包丁の使い方
- ・火のつけ方
- ・薪の割り方…節があるなしのアドバイス
- ・米の洗い方
- ・片づけ・掃除（食器洗い）
- ・「いっぱい食べたね」「頑張って食べたね」…嫌いなものなど

全体を通しての気づき

- 役割分担の大切さ
- 安全面
- 衛生面の配慮